

研究分野紹介： 梶井厚志 京都大学経済研究所

2003年12月24日

1. 専門研究

私の研究分野を一言で言い表すとすれば、「情報が経済に与える効果の理論的研究」である。この研究テーマに関して、主として以下に述べる3つの観点から理論研究を続けている。

1. 市場システムの理論分析： 一般均衡、特に非完備市場の研究

ここでの問題意識は、古典的な価格理論(競争的市場の理論)において、情報の問題から生じる市場の不完全性が、市場の働きにどのような効果をもつのかということである。

これまでに私は、金融市場における価格理論の有効性に関して、価格に関する予測と情報という観点からいくつかの研究成果を挙げ評価を受けている。第1に、金融市場での価格システムが社会的に好ましいものといえる意義を、情報とインセンティブの観点から分析し(研究業績[6],[7])、そしてこれらの分析手法の一般的方法論を確立した([14])。

第2に、通常の金融モデルにおいて、投資家たちの予測手法を自由にすると、経済のファンダメンタルズにまったく依存しない価格変化を伴う、非効率的な市場均衡(いわゆるサンスポット均衡)が起こりうるという問題に関して一つの解答を導き([13],[18])、しかしながら整備されたオプション市場があればそのような均衡は生じないことを示した([11])。

また、第3に、市場理論の一般的な基礎理論についても貢献している。ファジイ集合の考え方を競争均衡に取り入れ([1])、市場均衡の存在問題についていくつかの未解決の問題を解き([2],[9])、微分をつかった分析の基礎についても貢献している([26])。

2. ゲーム理論

市場理論の結論は、いわゆる証券価格づけ理論も含め、投資家たちが市場価格を所与のものとして行動するという古典的競争市場仮説のもとで得られている。ところが巨大な機関投資家やヘッジファンドにより市場価格の形成が左右されてきているといわれる最近の市場では、この仮定は当然再吟味されなければならない。もし投資家たちが、自分の価格影響力を考慮に入れて戦略的に行動したとき、市場における情報や価格予測の問題はどのようなインプリケーションを持つのだろうか。

この種の問題を扱う理論手法は、ゲーム理論である。私はこの点に関する基礎研究として、情報が完備でないような一般的な戦略的状況(ゲーム)における均衡の特徴づけに関する研究を行ってきた。基本的な考え方は、均衡状態は参加者が彼らのおかれた環境をどれだけ熟知しているかによってその安定度に違いがあるという点である。もしも、理論の予測が、参加者が周囲の環境(相手がそれをどのように考えているかを含めて)深く理解していることを前提とするならば、その理論的結論の現実的含意は、当然のこととして吟味されなければならない。この発想に基づ

く研究成果が[10],[12],[15]である。

ゲーム理論への貢献としては、このほかにも、ある種の安定性の概念である「 α -CORE」の存在問題に関する未解決問題を解き([3])、また下で述べる非期待効用分野への応用をおこなってきた([8],[23],[24],[25])。

3. 非期待効用理論

上で述べた理論のバックボーンは、いわゆる期待効用仮説である。一方で、期待効用仮説は、少なくとも記述的な立場からはその有効性が疑問視されてきた。期待効用仮説はどれだけ理論的に補強できるものなのだろうか。あるいは、上記に分類される理論からの帰結は、どれだけ期待効用仮説に依存しているのだろうか。

そのような観点から、私は非期待効用理論の基礎を研究してきた。その貢献はいくつかに分類できる。[4],[5]では、方法論に関する吟味をおこなった。期待効用を離れた場合には、期待効用理論の世界では当然と思われる時間に関しての行動の整合性が必ずしも保障されないことが知られているのであるが、これに関して未解決であった問題をひとつ解決し([19])、情報の価値の観点から分析した([17],[20])。また、Savage型の公理化を吟味し、Betweennessと呼ばれる非期待効用関数のクラスの、Subjectiveなバージョンの公理化をおこなった([21])。

そのほかにも、期待効用からの最小の乖離で得られる効用関数の公理化をおこない([16])、「後悔」の理論分析についても貢献している([22])。

また、期待効用に基づくゲーム理論の結果が、期待効用仮説を棄却することによって、どのように修正されなければならないのか、という問題にもいくつかの貢献をしている。これには公理的交渉理論に関する研究([8])、非協力型の交渉理論への貢献([24],[25])、混合戦略均衡の問題に関する研究([22])がある。

II. 一般向けの著作

専門論文以外にも、私は一般向けの情報発信をおこなっている。自身のホームページでは、常に自分の最新の研究動向の情報公開をおこなっている。また、一般向け書籍、新聞・雑誌への連載記事も、積極的に執筆している(書籍リスト参照)。

梶井厚志 学術業績一覧(2003年12月現在)

- [1] "A General Equilibrium Model With Fuzzy Preferences," Fuzzy Sets and Systems 26, (1988), 131-133.
- [2] "Note on Equilibria Without Ordered Preferences in Topological Vector Spaces," Economics Letters 27, (1988), 1-4.
- [3] "A Generalization of Scarf's Theorem: an α -Core Existence Theorem without Transitivity or Completeness," Journal of Economic Theory 56, (1992), 194-205.

- [4] "Many Good Choice Axioms: When can Many-Good Lotteries be Treated as Money Lotteries?," with Simon Grant and Ben Polak, *Journal of Economic Theory* 56, (1992), 313-337.
- [5] "Many Good Risks: An Interpretation of Multivariate Risk and Risk Aversion without the Independence Axiom," with Simon Grant and Ben Polak, *Journal of Economic Theory* 56, (1992), 338-351.
- [6] "On Incentive Compatibility and Constrained Optimality of Incomplete Market Equilibria," *Hitotsubashi Journal of Economics* 34, (1993), 123-135.
- [7] "Anonymity and Optimality of Competitive Equilibria When Markets are Incomplete," *Journal of Economic Theory* 64, (1994), 115-129.
- [8] "A Cardinal Characterization of the Rubinstein-Safra-Thomson Axiomatic Bargaining Theory," with Simon Grant, *Econometrica* 63, (1995), 1241-1249.
- [9] "How to Discard Non-Satiation and Free Disposal with Paper Money." *Journal of Mathematical Economics* 25, (1996), 75-84.
- [10] "Common p-Belief: the General Case," with Stephen Morris . *Games and Economic Behavior* 18, (1997), 73-82.
- [11] "On the Role of Options in Sunspot Equilibria," *Econometrica* 65, (1997), 977-986.
- [12] "The Robustness of Equilibria to Incomplete Information," with Stephen Morris . *Econometrica* 65 , (1997), 1283-1309.
- [13] "Sunspots and the Sequential Regularity of Competitive Equilibria," *Journal of Economic Theory* 78, (January 1998), 187-194.
- [14] "Constrained Suboptimality in Incomplete Markets: A General Approach and Two Applications," with Alessandro Citanna and Antonio Villanacci. *Economic Theory* 11, (May 1998), 495-522.
- [15] "Payoff Continuity in Incomplete Information Games," with Stephen Morris , *Journal of Economic Theory* 82, (September 1998), 267-276.
- [16] "AUSI Expected Utility; an Anticipated Utility Theory of Relative Disappointment Aversion," with Simon Grant. *Journal of Economic Behavior and Organization*, 37, (November 1998), 277-290.
- [17] "Intrinsic Preference for information," with Simon Grant and Ben Polak,*Journal of Economic Theory*, (December 1998), 83, 233-259.
- [18] "The Structure of Sunspot Equilibria: the Role of Multiplicity," with Piero Gottardi. *Review of Economic Studies*, 66 (July 1999), 713-732.
- [19] "Temporal Resolution of Uncertainty and Recursive Non-Expected Utility Models," with Simon Grant and Ben Polak. *Econometrica*, 68, (March 2000), 425-434.
- [20] "Preference for Information and Dynamic Consistency," with Simon Grant and Ben Polak. *Theory and Decision*. Volume 48, issue 3 (May 2000) pages 263-286.
- [21] "Decomposable Choice under Uncertainty," with Simon Grant and Ben Polak. *Journal of*

Economic Theory, 92, (June 2000), 169-197.

[22] "Different Notions of Disappointment Aversion," with Simon Grant and Ben Polak, Economics Letters, 70, (February 2001), 203-208

[23] "Third down with a yard to go": recursive expected utility and the Dixit-Skeath conundrum," with Simon Grant and Ben Polak, Economics Letters, 73, (December 2001) pp. 275-286.

[24] "Bargaining and Boldness," with Albert Burgos and Simon Grant. Games and Economic Behavior 38, (January 2002) 28-51.

[25] "Corrigendum to "Bargaining and Boldness,"" with Albert Burgos and Simon Grant. Games and Economic Behavior 41, (October 2002) 165-168.

[26] "A note on the regularity of competitive equilibria and asset structures," Journal of Mathematical Economics (Volume 39, Issue 7, September 2003) Pages 763-776 [with Piero Gottardi]

梶井厚志 一般向け著作リスト

著作

- 『ミクロ経済学：戦略的アプローチ』(2000年2月) 日本評論社、梶井厚志、松井彰彦 (共著)
- 「ゼロからスタート！経済学超入門」 2000年4月 経済セミナー編集部編 (共著者 松井彰彦)
- 『戦略的思考の技術：ゲーム理論を实践する』(2002年9月)中央公論新社 (単著)
- 『戦略頭脳：実践に役立つ4つの戦略とその活用法』(2003年)サンマーク出版 (単著)

より専門的な著作

- 『ゲーム理論の新展開』(2002年4月) 勁草書房、今井晴雄・岡田章 編 pp. 115～151
共著者：宇井貴志、梶井厚志

新聞雑誌記事

- 「戦略的思考で自己研さん」 日本経済新聞 経済教室 1999年4月9日掲載
- 「Q&A 身近な疑問から経済学」 経済セミナー1999年の特集(松井彰彦氏と共著)
- 「21世紀の市場経済」(2001年2月20日日本経済新聞「経済教室」)
- 「価格競争とコミットメント」(2001年4月10日から17日まで日本経済新聞「やさしい経済学」連載)
- 「完全情報と市場取引の効率性」 経済セミナー2002年4月号
- 「段ボールの値引き競争はいつ終わるのか」 月刊カートン・ボックス 2002年10月号